

学生時代に身に付けておくべき事 第31弾

日本学生卓球連盟 副会長 鈴木一雄

我が国日本の国歌「君が代」の歌詞について

現在2020東京オリンピック・パラリンピックが開催中、オリンピック開催期間の中日となりました、注目は日本人選手の金メダル獲得が史上最多となっており、表彰台で一番高い位置に選手が立ち、国旗「日の丸」の掲揚そして国歌「君が代」斉唱を何度も聞いていますがその度眼がしらが熱くなります。

さて学生の皆さんは国歌「君が代」の歌詞の意味をご存知ですか？
実は私もおぼろげに先輩諸氏より聞かされた思い出はありますが、正しく内容を理解していませんでしたので調べました。

日本人であれば、これから何度も斉唱する機会があると思いますので歌詞を正しく理解し誇りと自信をもって斉唱すべきではないかと思い取り上げました。

君が代は

(あなたの、命が) ※代=命・寿命

千代に八千代に

(永く永くの表現)

さざれ石の巖となりて

(小さな石が長い年月をかけて大きな石となり)

苔のおすまで

(その石に苔がつくまで)

つまり、

あなたの命が、小さな石が長い年月をかけて大きな石となり、その石に苔がつくまで、永く永く続きますように。

という意味になります。

前回日本人の心は「和の心」と言いました、そして日本は「和の国柄」でもあります、「君が代」は我が国日本に、まさに相応した歌詞と私は思います。
大事にしましょう、心を込めて斉唱しましょう！